

1. 製品及び会社情報

製品名	ネジザウルスリキッドシリーズ
供給者	株式会社エンジニア
住所	大阪府大阪市東成区東今里2-8-9
連絡先	Tel 06 (6974) 0028 Fax 06 (6974) 5661
推奨用途及び使用上の制限	除錆剤、金属表面処理剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

・健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分3
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（全身毒性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（血液系、肝臓）

上記で記載のない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
全身の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、肝臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策

取扱う前に、安全データシートをよくお読みの上作業して下さい。
(混合の危険性)本物質は還元剤であり、酸化剤(過酸化水素、ブロム酸ソーダ等)と混合すると危険である。場合によっては発火の恐れもある。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

応急措置

飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水と洗剤で洗浄すること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合は、医師の治療を受けること。
再使用する前に、汚染された衣服は洗濯すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

保管

施錠して保管すること。
直射日光を避け冷暗所に密栓して保管すること。
酸化剤と同一場所には保管しないこと。

廃棄

内容物や容器は、該当法規に従い都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。

他の危険有害性

知見なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名及び化学式

主成分 チオグリコール酸アンモニウム $\text{HSCH}_2\text{COONH}_4$

成分及び含有量

チオグリコール酸アンモニウム	29.5 ~ 31.0%
脂肪族系有機溶剤	12.0 ~ 15.0%
非イオン性界面活性剤	0.5 ~ 1.0%
金属イオン封鎖剤	0.1 ~ 0.3%
Cold 17-Z-0861	微量
精製水	全量100%

化審法

2-1355 (チオグリコール酸)、1-391 (アンモニア)

Cas #

5421-46-5 (チオグリコール酸アンモニウム)

国連分類及び国連番号

クラス6.1 / 2810

労働安全衛生法

通知対象物質に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気の場所に移す、症状が続く場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水と洗剤で洗浄する。医師の診察/治療を受ける。

眼に入った場合

コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外し、流水で20~30分間洗浄する。医師の診察/治療を受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には、何も与えない。直ちに医師に連絡する。医師の指示がない場合には、無理に吐かせない。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること

医師に対する特別な注意事項

知見なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災: 本物質と過酸化水素等の酸化剤は別の場所に保管し周辺に散水して類焼を防ぐ。通常火災と同様、水にて冷却消火を行う。

使ってはならない消火剤

知見なし

火災時の特有の危険有害性

有害物質(亜硝酸ガス(一酸化窒素)、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素)が放出される可能性がある。

特有の消化方法 知見なし

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 周囲に注意喚起し、避難させる。漏出区域に入るときは保護具を着用する。
保護具及び緊急措置

環境に対する注意事項 水域に対する危険性は低い。非常に多量に水、排水、下水、または地中に入った場合は、自治体に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
及び機材

二次災害の防止策 環境規制に従って、汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項 皮膚、眼、衣服との接触を避け、個人用保護具を着用する。容器を転倒、落下させ衝撃を与える、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉じんや蒸気を発生させない。使用後は容器を密栓する。取り扱い後は手や顔をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙はしない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込まない。取り扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

安全な保管条件 直射日光を避け、冷暗所に密栓して保管する。酸化剤と同一場所で保管しない。

安全な容器包装材料 ポリエチレン等の樹脂製又はガラス及び陶器製の容器を使用する。

混触禁止物質 強酸化剤

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 作業場所には適切な局所排気装置等を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設ける。洗浄設備の位置を明瞭に表示する。

保護具

眼 サイドガード付き保護眼鏡

皮膚及び身体 必要に応じて適切な保護衣または化学防護服を着用すること。

呼吸器 状況に応じて適切な呼吸用保護具を着用すること。

手 保護手袋

管理濃度及び許容濃度 未設定

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	性状	液体		
	色	透明		
	臭気	香料臭		
融点/凝固点		知見なし		
沸点、初留点及び沸騰範囲		知見なし	可燃性	知見なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		知見なし	引火点	知見なし
自然発火点		知見なし	分解温度	知見なし
pH		7.0～7.8(25℃)	動粘性率	知見なし
溶解度		水:可溶	蒸気圧	知見なし
n-オクタノール / 水分配係数		知見なし		
比重		1.05～1.15 (25℃)		
粒子特性		知見なし	相対ガス密度	知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性	知見なし
化学的安定性	通常の取扱いでは安定である。長期保管において純度低下がある。
危険有害反応可能性	火災の場合、有害物質が放出される可能性があります。 亜硝酸ガス(一酸化窒素)、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	亜硝酸ガス(一酸化窒素)、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	ECHAによる71% チオグリコール酸アンモニウムLD50換算値 100mg/kgなど各成分より推定値を計算し、区分3とした。
皮膚腐食性/刺激性	データ不足のため分類できない
眼刺激性	データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分1 区分1Aのチオグリコール酸アンモニウムを0.1%以上配合しているため本品を区分1とした
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	データ不足のため分類できない
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(全身毒性) 区分1(全身毒性)のチオグリコール酸アンモニウムを10%以上配合しており

	本品も区分1(全身毒性)とした
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(血液系・肝臓) 区分2(血液系・肝臓)のチオグリコール酸アンモニウムを10%以上配合しており 本品も区分2(血液系・肝臓)とした
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
 該当法規に従って廃棄物を処理する。(国、都道府県並びにその地方の法規条例に従う)
 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	2810
品名(国連輸送名)	その他の毒物(液体)(有機物)、n.o.s
国連分類	クラス6.1
副次危険	-
容器等級	III
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II及び	該当しない
IBCコードによるばら積み輸送	
される液体物質	
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
陸上規制情報	該当しない
特別な安全上の対策	該当しない
その他(一般的)注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、重量物を上積みしない。荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号*	154

*北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「2020 Emergency Response Guidebook (ERG 2020)」(一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている(発行元:日本規格協会)に掲載されている。

15.適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質に該当しない 【 R6.4.1以降】皮膚等障害化学物質等(チオグリコール酸アンモニウム)
消防法	該当しない
PRTR法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

主な引用文献 危険物ハンドブック、NITE、ECHA、他

注意 記載した内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を運用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。以上は情報提供であり、本情報による指示に従って本物質が取扱われようといまいと、本物質の取扱いによって生じる損害等の結果に対する責任については、一切責任を負いません。